

丹沢：榛ノ木丸-姫次

- ◆日程 2017年3月11日(土)
- ◆メンバー L：小林
- ◆天候 曇り

静かな山歩きの楽しめる黍殻山東面の藪尾根を例会山行として提案した。行きたいとの声もあったが都合が合わず参加者ゼロ、「どこを歩こうか？」と2.5万図と相談し、榛ノ木丸東尾根に決めた。下山は姫次南東尾根のフトノノ尾根から沢に降りる周遊コースにしてみた。



厚木の吉野家で朝食をとり丹沢観光センターに車を停める。林道が180°ターンするわかりやすい尾根の取り付きである。下部は等高線が混んでいて急登、右側は自然林で美しい尾根線を描いている。今度はこの尾根を登ろうか、と次のコースを考えていた。登るにつれ左側には丹沢三峰のアップダウンの山容が大きくなってくる。900m程で自然林となり山の中を歩く楽しさを感じた。980mは大杉タツマと言うらしい。ここから傾斜が緩み登りやすい。

大杉沢ノ頭から榛ノ木丸のピークまでのルート取りでは「思い込み」で現在位置不明状態に陥る。思い込みは、地図を広げて地形を観察する基本を省略する。経験や慣れの悪い面は思い込みを作ってしまう事だろう。

榛ノ木丸の山頂から痕跡がはっきりとしてくる。右側には黍殻山が大きい左右対称の三角形を描いている。なだらかな登りで登山道に合流、姫次は近い。11時前だが一人ベンチに腰を下ろし暫しお楽しみの時間、蛭ヶ岳を望みながらゆっくりとする。

下山はフトノノ尾根を歩いてみる。蛭ヶ岳が大きい。広い尾根なのでコンパスを振りながら慎重に歩く。経験のない所は基本に立ち返り慎重になる。沢に降りる所と榛ノ木丸への登り返しがこのコースのポイントと思っていたが問題なくルート取りが出来た。思い込みが無ければ基本どおりの事をするのである。

3時間前に通り過ぎた榛ノ木丸から南方向の痕跡のはっきりした尾根道を使い、今は廃屋となった造林小屋に下山した。林道25分の歩きで駐車場所に着く。今回も本当に楽しい山行だ

ったと大満足で帰宅した。

CT : 丹沢観光センター7:50-榛ノ木丸 9:55/10:00-姫次 10:50/11:35-カサキ沢
渡渉 12:25-榛ノ木丸 12:50/12:55-造林小屋 14:15-丹沢観光センター14:45

以上